

外食栄養管理推進事業の評価指標について（案）

市民の健康づくりをすすめるためには、家庭内の食事だけではなく、外食をも含めた総合的な食生活管理が必要であることから、飲食店等についても、市民への健康・栄養情報提供の場として、栄養成分表示を行い、市民自らの食生活管理のもと、健康づくりに役立てられることを目的に、平成8年度から「外食栄養管理推進事業」を実施している。

しかしながら、事業開始から17年を経過し、この事業を取り巻く状況も変化してきたことから、今後のあり方について検討するため事業効果の検証を行う必要があり、そのための評価指標について諮りたい。

1 調査対象

- (1) 市民（各区保健福祉センター等に来所した市民）
- (2) 栄養成分表示店（大阪市が指定した飲食店）

2 調査方法

- (1) 各区保健福祉センターで実施している乳幼児健診等に来所した市民に対してアンケートを行う。
- (2) 栄養成分表示店の状況把握を行う際に、聞き取りまたはアンケートを行う。

3 調査期間

平成26年6月～12月

4 評価指標

(1) 市民

- ① 飲食店等で栄養成分表示をしていることを知っている人の数（または割合）
- ② メニューの栄養成分表示を参考にする人の数（または割合）
- ③ 飲食店等に栄養成分表示が必要と思う人の数（または割合）

(2) 栄養成分表示店

- ① 栄養成分表示をして何らかのメリットがあると回答した飲食店の件数（または割合）
- ② 栄養成分表示が必要と回答した飲食店の件数（または割合）